**第４回　大阪港ベイエリアに関する意見交換会　結果概要**

日　　　　時：令和２年１月15日（水）15:00～17:20

場　　　　所：咲洲庁舎２階　咲洲ホール

　出 席 団 体 ：

アジア太平洋トレードセンター株式会社、一般財団法人大阪国際経済振興センター、

株式会社星野リゾート・アセットマネジメント、ハイアット リージェンシー 大阪、

日立造船株式会社、株式会社ベストブライダル　アートグレイス　ウエディングコースト、

西尾レントオール株式会社、大阪臨海熱供給株式会社、森ノ宮医療学園　森ノ宮医療大学、

合同会社ユー・エス・ジェイ、株式会社海遊館、株式会社ジオ・アカマツ、

ホテルユニバーサルポート、大阪ベイタワー、ホテル・ロッジ舞洲、株式会社キャプテンライン、

北港観光バス株式会社、堺ホテル協会、

西日本旅客鉄道株式会社、大阪市高速電気軌道株式会社、大阪シティバス株式会社、

南海電気鉄道株式会社、南海バス株式会社、大阪水上バス株式会社（書面による出席）、

アムテック株式会社（書面による出席）、西部自動機器株式会社（書面による出席）、

公益社団法人2025年日本国際博覧会協会事務局、

大阪府住宅まちづくり部【事務局】・都市整備部・IR推進局、

大阪市都市計画局・港湾局、堺市建築都市局・文化観光局・産業振興局（順不同）

1. **夢洲等のまちづくりについて**

夢洲等のまちづくりの取り組みついて、情報共有を図った。

・夢洲まちづくりの計画について

・万博の状況について

・ＩＲの誘致に向けた取組みについて

1. **広域ベイエリアのまちづくりについて**

広域的なベイエリアのまちづくりの状況や取り組みについて、情報共有を行った。

・大阪広域ベイエリアの取組みについて

・堺市におけるベイエリアの状況について

1. **万博等を契機としたベイエリアのまちづくりについて**

①及び②を踏まえ、万博等を契機とした取り組みや、より広域的なエリアも含めたベイエリア内の連携などについて、意見交換を行った。

**◆万博開催決定をはじめ昨今の動きを受けて、取り組みたい事業や活動について**

○G20の開催、万博開催決定 、IR誘致活動等を通じ、大阪ベイエリアに対する注目が高まっている。

○万博会場に近い立地を活かし、万博のコンセプトである「未来社会の実験場」（People’s Living Lab）を支える場を提供していきたい。

〇産学や国際交流、研究開発の成果を発信する拠点として、AI・IoT技術を活用したビジネスに取り組みたい。

〇語学研修の実施、言語機能通訳機器の導入、表記・サイン等の多言語化、キャッシュレス化、海外のエージェンシーとの連携等、外国人対応に向けた取組みや、外国人の日本語教育等の取組みを行っている。

○多言語対応のアンケートにより外国人の要望や意見を蓄積・分析し、マーケティングツールとして活用したい。

〇出発地から目的地までシームレスな移動手段を提供するためのMaaSの実用化に向け取り組みたい。交通事業者だけでなく、他のサービス事業者も含め、より広域的な連携が必要。

〇鉄道やバス等で、万博会場へスムーズに大量輸送ができるように検討を進めていきたい。

バスについては、運転手不足の課題もある。ベイエリアで自動運転の実証実験を行っており、実現に向け取り組みたい。

**◆ベイエリア内における連携について（堺・泉州方面などより広域的な連携も含む）**

〇ベイエリアの回遊性が向上すれば、ユニバーサル・スタジオ・ジャパン、海遊館、夢洲、百舌鳥・古市古墳群をはじめとする多くの観光資源が至便につながり、観光客の滞在日数も増加する。

また、これまで通過点であった周辺地域も観光の拠点として活性化するのではないか。

○広域ベイエリアで見ると、紀州街道沿い等には歴史的な資源が多くある。すでにあるものを有効活用し、エリア全体でつなぐことが重要。

〇夢洲、咲洲、舞洲、天保山、USJ等のベイエリア各施設を巡回するバス路線や船で周遊できる航路を実現させたい。

〇国際会議等に来ていただいたお客様を、どうベイエリア全体に移動していただくか検討すべき。

〇鉄道、バス、タクシー、船や各施設の連携したパス・割引ができれば、広域的な移動にもつながるのではないか。

〇九州につながるフェリーがあり、活用したい。関空・神戸空港からの航路等舟運の拡充や、ヘリコプター等のアクティビティとの連携などを検討してはどうか。

〇ベイエリア内の各施設で、商品の共同開発・販売に取り組んではどうか。

〇空地や公共施設の活用、まちの美化等に取り組んではどうか。万博開催までの間、知恵を絞りながら地域一体で、エリアマネジメント等で賑わいを生むような取組みができれば良いと思う。

〇人がつながり、それぞれの得意分野で知恵を出し合い、収益を生み出すプラットフォームのようなものがあれば発展していけるのではないか。